

フェミニズムの時代
カルラ・ロンツィを読む

Le temps du féminisme

une lecture de Carla Lonzi



平成29年9月27日（水）18：00－20：00

早稲田大学戸山キャンパス32号館128教室

フランス語（逐次通訳あり）

講演者：ジョヴァンナ・ザッペリ（トゥール大学教授）

Conférencier: Giovanna Zapperi (Université de Tours)

司会：橋本一径（早稲田大学教授）

Modérateur: Kazumichi Hashimoto (Waseda University)

コメンテーター：西谷修（立教大学特任教授）

Répondant: Osamu Nishitani (Rikkyo University)

講演者について：2005年にパリ社会学高等研究院（EHESS）にて博士号を取得後、フンボルト大学客員教授、ナント高等研究院研究員、ブルジュ高等美術学院（ENSA）講師を経て、2017年9月より現職に至る。2007年から2009年まで雑誌 *Multitudes* の編集委員をつとめる。近年はイタリアのフェミニストであるカルラ・ロンツィの美術批評および美術史研究について研究している。単著に *L'artiste est une femme. La modernité de Marcel Duchamp* (Paris, Presses Universitaires de France, 2012)。編著に *L'avenir du passé. Art contemporain et politiques de l'archive* (Presses Universitaires de Rennes, 2016)。共著に *Carla Lonzi: un'arte della vita* (sous la dir. avec Francesco Ventrella, Roma, Derive Approdi, 2017)。また *Art and Feminism in Post-War Italy. The Legacy of Carla Lonzi* (London, IB Tauris, 2018) を近刊予定である。